レモン 接ぎ木で増やし、早く実を収穫！

高つきレモン

【切り接ぎ】 見ればわかる、成功する適切な時期と手順

2026年9月26日　by栗山

接ぎ木とは、土台となる植物（**台木**）に、違う種類の植物（**穂木**）をつなげる技術です。
接ぎ木は何をどこに接ぐかによって切り接ぎ、芽接ぎ、腹接ぎ、高接ぎ、根接ぎなどがあります。
ここでは基本的な切り接ぎの台木と穂木が同じレモンを用いる**共台接木**について説明します。

接ぎ木の利点：成功率約80%以上　**2年後に収穫！**（注意）はさみと刃の消毒、手洗い
①病害虫に強い木を育てられる　②早く果実を収穫できる　③同じ性質の木を育てられる
接ぎ木の欠点　①手作業の難しさや時間　②接ぎ木の知識と技術　③台木育成の手間

STEP１:台木を作る（接ぎ木の**1年半～2年前**に種を取り、実生苗を育成準備する）



レモン
（カラタチ、ヒリュウ
夏ミカン、柚子）



10月　種を取る



発芽させる



土に植える

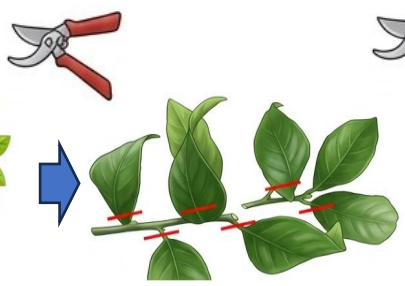


実生苗1年生の台木

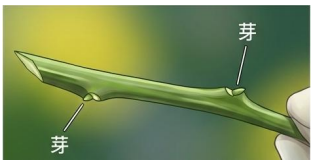
STEP２:穂木を作る（**２～3月**に成熟した木から枝を切り取り穂木を作る）



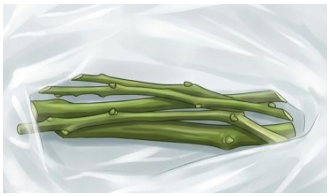
レモンの木



中間部の枝を切り取る

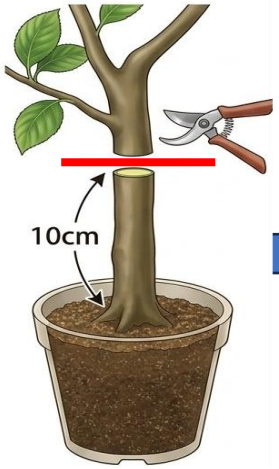


葉を切り穂木を作る

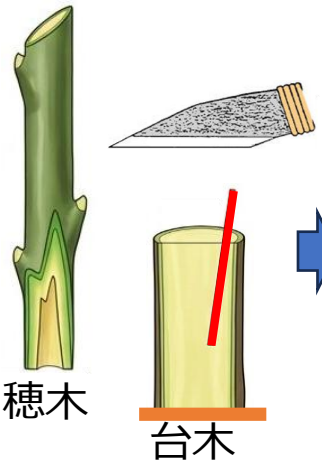


冷蔵庫で1か月保管

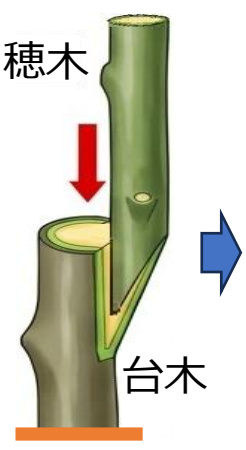
STEP３:接ぎ木をして育てる（**３～4月**に接ぎ木する。育成し2年後に果実収穫）



台木の実生苗を切る



斜めに切る



穂木を差し込む



テープで結束する



2年で収穫！

レモンの切り接ぎ　基礎知識と必要な物

高つきレモン

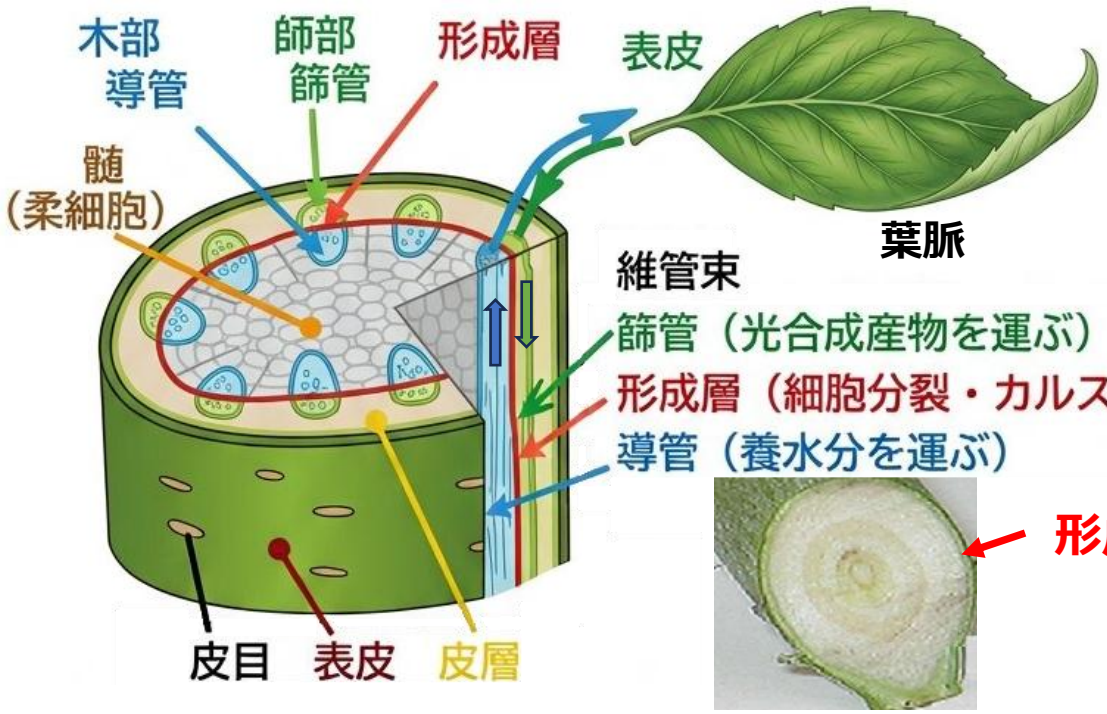
①接ぎ木の原理：細胞分裂する「形成層」をスムーズにくっつける

接ぎ木はクローン技術で、1本の枝と台木さえあれば、同じ性質の木を簡単に増やせます。
挿し木は枝を地面に挿して発根させるが、**根がある接ぎ木は圧倒的に生長が早いです。**
枝は皮部分の樹皮と中の部分の木部に分かれ、樹皮と木部の境を形成層といいます。
形成層では細胞分裂が行われ、**台木と穂木の形成層を合わすと、新しい細胞で接合します。**

台木と穂木の**太さが同じくらいが成功確率が高い**です。
太さが同じでない場合には、**片方だけでも形成層をしっかりと合わせるようにします。**
接ぎ木は**3~4月にします。**理由は台木の樹液が動き始めてからの方が活着がよいからです。
大地に根を持ち土台にする植物を台木と呼び、土台に接着したい枝や芽を穂木と呼びます。
台木と穂木とが同じものを**共台**（ともだい）と言います。

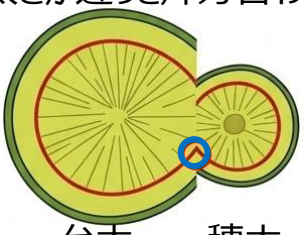
②枝の基礎知識

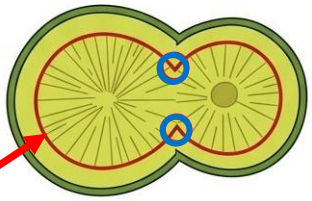
- 内側の中心部には**髄**（ずい）があります。・・・海綿状の柔らかい細胞
- 髄の周りには**維管束**（いかんそく）があります。・・・篩管・**形成層**・導管から成る
- 形成層は枝の内側の輪状に配置されており，**細胞分裂を行う層**です。
- 形成層に傷が入ると**カルス**といって**癒合組織**が形成され、**接ぎ木が上手く行われます。**
- 形成層の内側には養水分を通す**導管**（どうかん）があり，
  外側には光合成で生まれた有機物を通す**篩管**（しかん：師管とも）があります。



形成層

太さが違うと片方合わす





同じ太さは両方合わす



接木テープ



③接ぎ木に必要なもの　最少約500円

- 台木（土台となる根を張った株）
- 穂木（育てたい芽が出ている苗・株）
- 接ぎ木テープ（ニューメデール接木テープ5m1000円、その他500円程度）
- 清潔なナイフもしくはカッターをエタノールで消毒する(ハサミはNG)
- 水でよく湿らせた布

STEP１:台木を作る（1年半～2年前に種を取り、実生苗を育成する）

高つきレモン

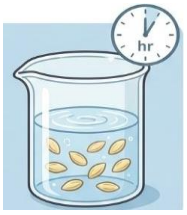
柑橘の台木にはカラタチが95%以上使われています。ここではレモンのタネから台木を作ります。接ぎ木ができる大きさになるまでに**１～２年必要なため、前もって用意**しておきます。

レモンの種から育てるには、まず種をきれいにした後、湿らせたキッチンペーパーに包んで発芽させます。発芽したら、水はけの良い土に植え、発芽から1ヶ月～2ヶ月経ったら、さらに大きな鉢に植え替えて育てます。

種まきの準備（室内で作業する）

- **種の洗浄**: まず、レモンから取り出した種を水洗いし、表面のぬめりをきれいに取り除きます。
- **水に浸す**: 種を1時間ほど水に浸すと、さらに皮が柔らかくなり剥きやすくなります。
- **カッターナイフで皮むき**:消毒したカッターの先端や刃先を使い、種の**とがった部分**（発根しやすい側）に少し切れ込みを入れます。種を傷つけないように、**外側の硬い皮のみ**を剥くように注意してください。ピンセットを使うと作業がしやすいです。次にその内側にある薄い茶色の皮も剥くと**発芽率の向上**や**発芽までの期間短縮**ができます。


レモン種取り



1時間水につける


ぬめり取り


皮に切り込み


薄い皮取り


湿ったペーパーに包んで置く

発芽させる

- キッチンペーパーを湿らして種を包み、ジップロックなどの袋やタッパーに入れ、暗くて暖かい室内に置きます。
- 1～2週間ほどで発芽するのを確認できたら、次のステップに進みます。

発芽



鉢に植え替え育てる

- 発芽した種をレモン用培養土を入れた3号ポットに植え付けます。
- 発芽後2ヶ月ほど経ったら、大きめの4号ポットに植え替えます。
- 屋外で通気性を保ち、乾燥しすぎないように水やりを行います。

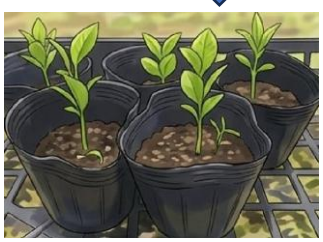
植え付け
屋外



その後

- 苗が成長してきたら6号鉢に植え替えし、液体肥料を定期的に少量与えてください。
- 冬場は寒さに弱いので、屋内に置いてください。
- 1年後に台木として使えるように大きくなります。
- 種から育てた実生苗は、実がなるまで7年以上かかります。


6号鉢に植え替え


4号ポットに植え付け

STEP２:穂木を作る（２～3月）

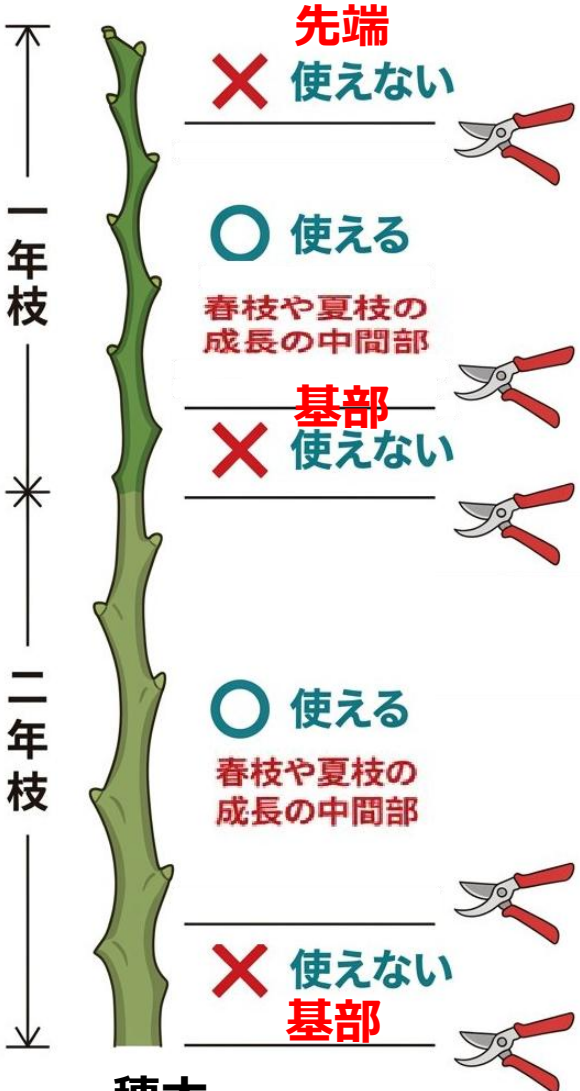
成熟した木から枝を切り取り穂木作る。若すぎず老いすぎずの枝を採取

・**穂木に適した枝**：前年に**南側で十分に成熟伸長**した病害虫の影響を受けていない新梢
1芽以上ついた、**前年に実をつけた枝ではないもの**（翌年に実をつけない性質のため）

・**採取する時期**：樹液の流動前の**2～3月**の寒いうちに**枝を切り取り準備**します。

・**穂木の条件**：**濃い緑色**で充実した**前年の春枝や夏枝**
太さ:**7～10㎜（台木の太さに合わせる）**、長さ:**10～15cm程度**
先端と基部を除き **中間部**を用います。（2葉2芽）
1～2芽ついている状態の枝を切り、葉をつけ根で切り取り落とします。

・**保存**：キッチンペーパーを濡らして穂木と一緒にポリ袋に入れてグルグル巻きにし、
接ぎ木の適期（3～4月）まで冷蔵庫の野菜室６℃程度で保存します。
穂木の**下側にテープを巻き**、上下を区別できるようにします。
７日に１回程度の割合で袋を開けて、**空気を入れ替えます**。30日程度が限界。



穂木
鉛筆より少し太い枝
太さ7～10㎜
1～3節 長さ10～15cm



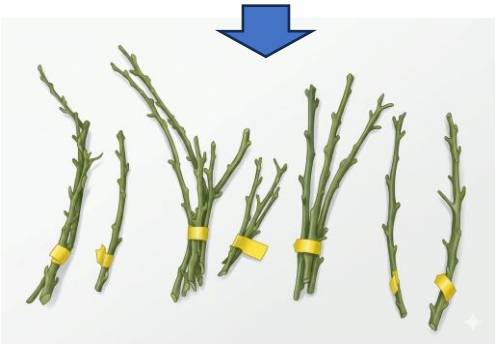
2～3月
枝を切り取る



葉を切り取る



長さ合わせ穂木を作る
太さ7～10㎜
長さ10～15cm



穂木に上下の印付ける



3～4月まで
冷蔵庫で保管

STEP３:接ぎ木をする（切り接ぎ）3~4月

形成層を合わせる

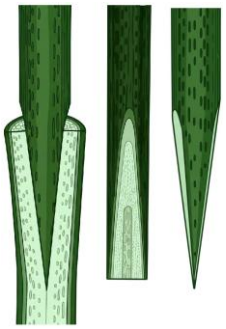
基本的な手順は、穂木と台木をそれぞれ**斜めにカット**し、穂木を台木の切り込みに挿して穂木の切り口の**形成層**と台木の切り口の形成層を合わせて**密着**させ、接ぎ木テープで固定します。

ポイント①：**3~4月**に接ぎ木します。
ポイント②：台木と穂木の**太さを同じ**ようにすると形成層の位置が合う確率が高くなります。
ポイント③：形成層がより広く露出するように**斜めに切り**、**形成層の合体面積を広く**します。
ポイント④：よく切れる**清潔なカッター**やナイフを使って細胞を潰さず素早く1回でカットします。
ポイント⑤：台木と穂木の**形成層を密着させ**、テープで動かないように**結束**します。

作業の準備（室内作業が良い）
- 作業は乾燥防止のために**日陰で、風が当たらない所**で行う。
- よく切れるカッターまたは接木用小刀を使う。（**刃を消毒する**）
- 作業は**穂木の方から始める。**



切り接ぎ



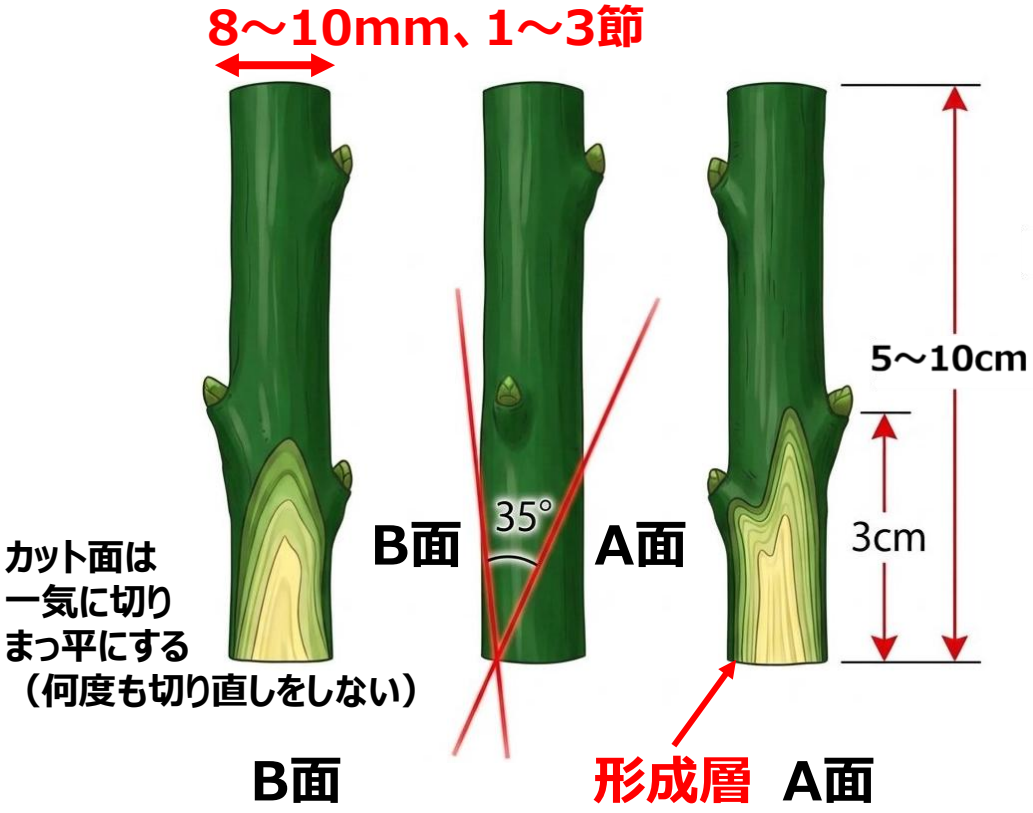
枝が細いと
真ん中で割接ぎ

（１）穂木（ほぎ）の準備

•穂木を選ぶ
台木と穂木が同じような太さで、まっすぐ伸びた太い枝を選びます。

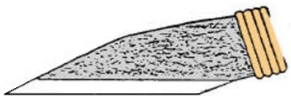
•穂木を切る:
①**芽の2~3cm下の位置で斜め35~40度程度の尖った面になるようにカットします。**
②穂木の切り口を見て形成層がある位置を確認したら、カットした反対側(芽の反対側)を樹皮を剥ぐように**薄く2~3cmほどそいで形成層を露出**させます。
③穂木の**1~3芽を残して**、あとはカットして**全長5~10cm**になるようにします。

•穂木を保護: 水で湿らせた布やタオルに包むなどして乾燥を防ぎます。





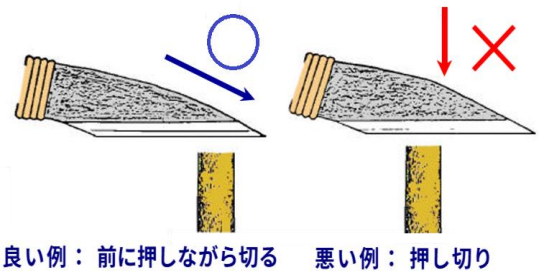
消毒した刃

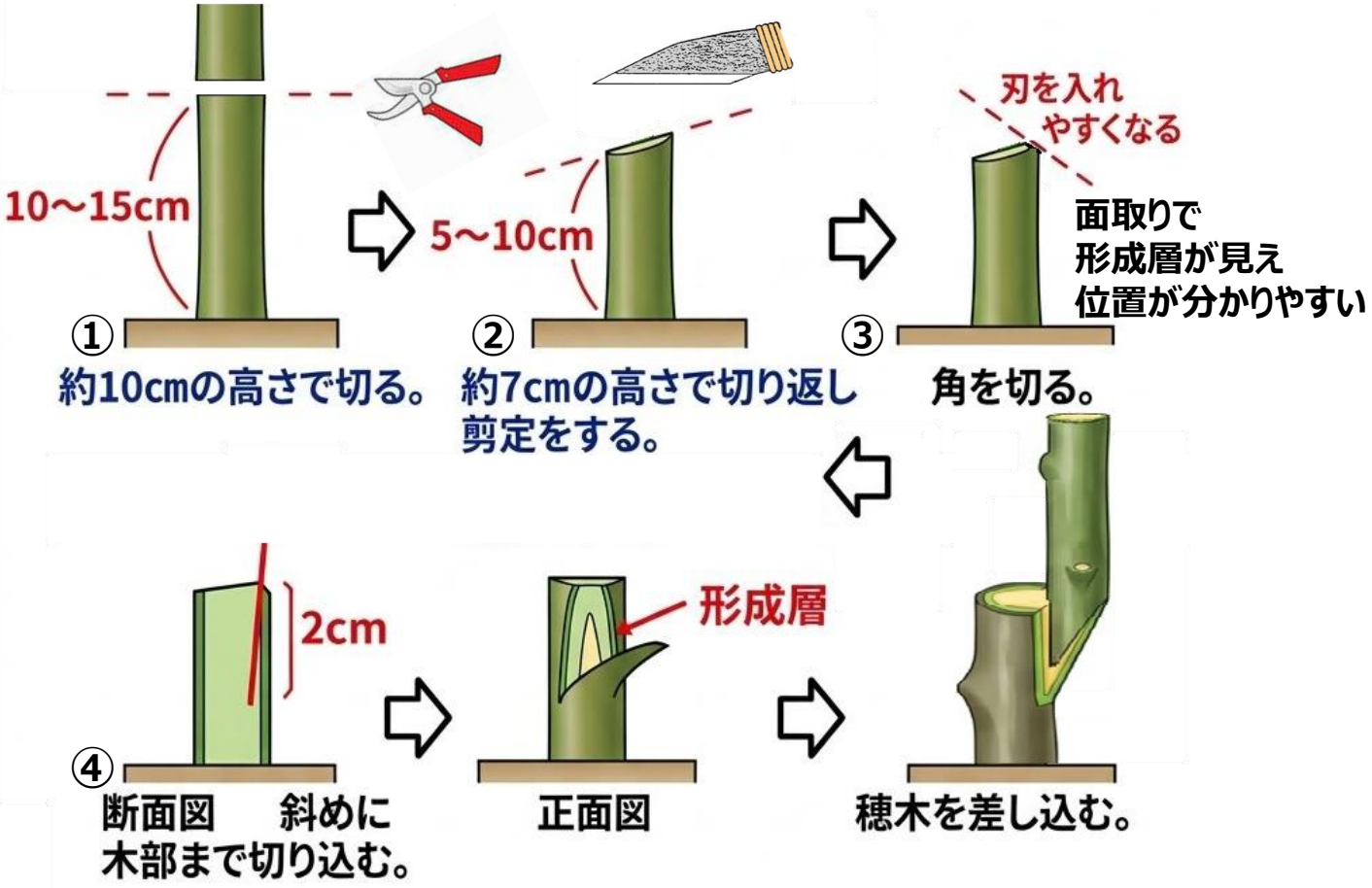


・細胞を壊さないこと
・平らな面にすること

（２）台木（だいぎ）の準備

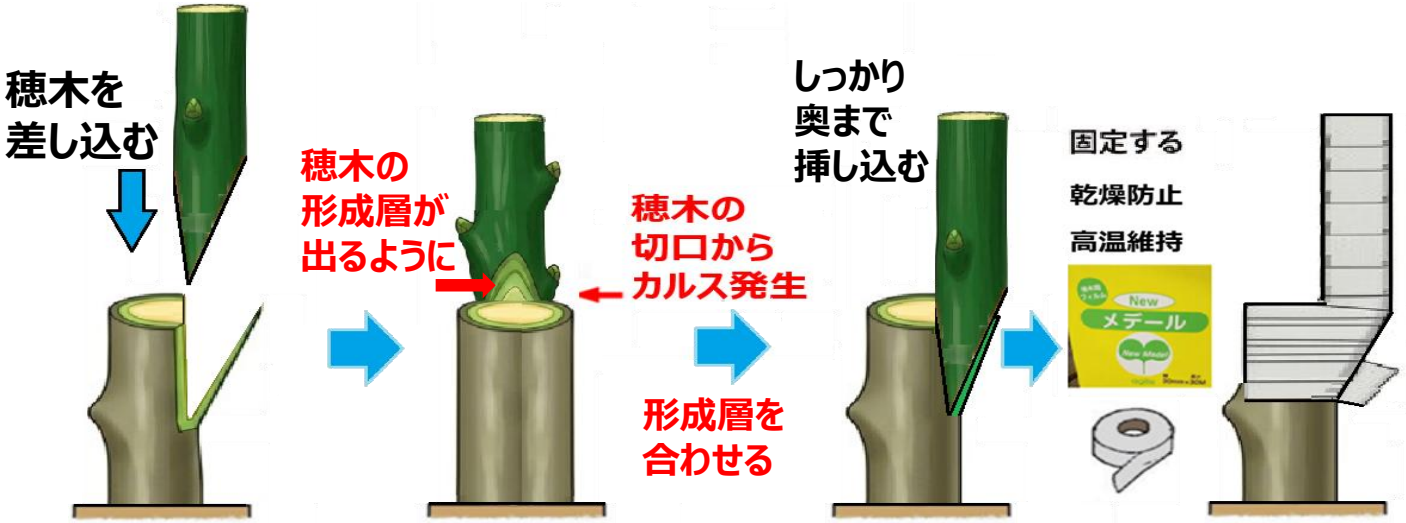
前もって用意しておいた実生苗を用います。
①地上約10cmの高さで水平に切ります。
②地面から3～5cmの高さを残して斜めに切ります。
③反対側の角張っているところの角を斜めに取ります。
④**斜めに基部まで2～3cm切り込みます。**
　このとき、**樹皮を剥ぐように、若干内側に**
角度をつけて切り込みを入れるのがコツです。



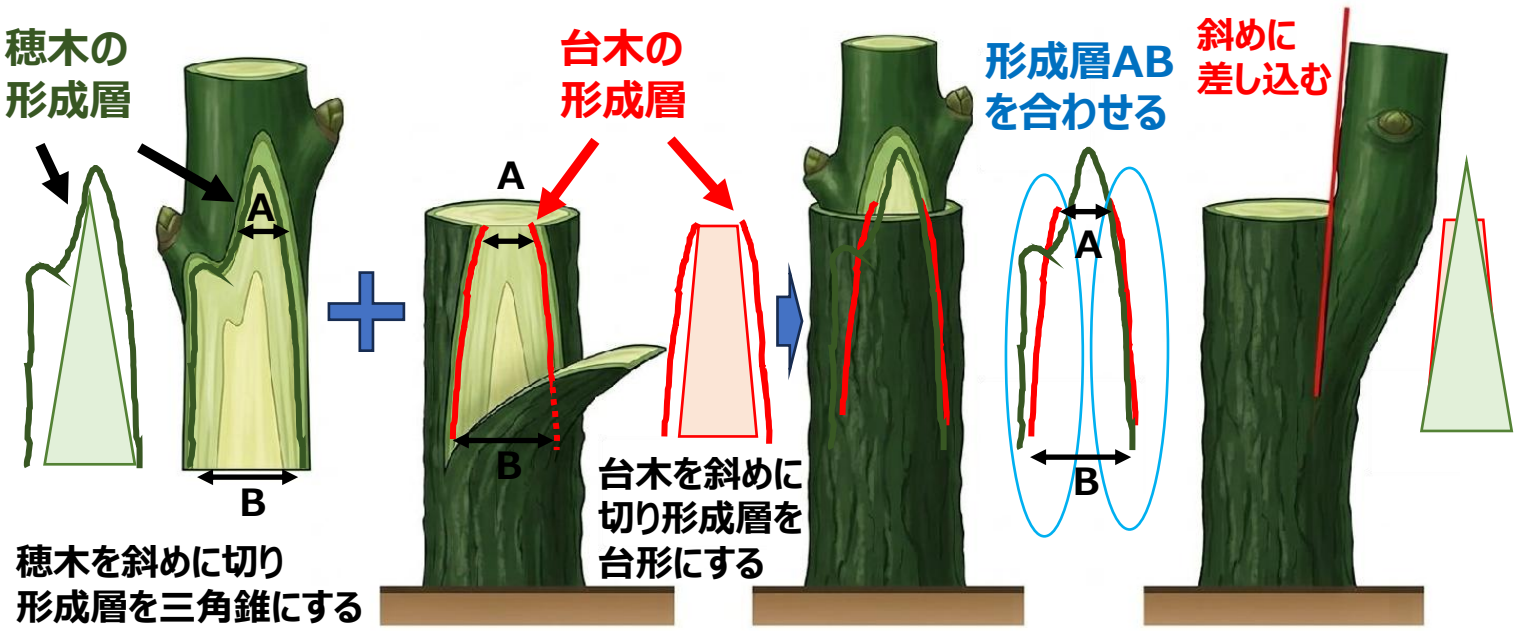


（３）接ぎ木をする（穂木と台木を接合する）

- **穂木を差し込む**:台木にいれた切れ込みに、穂木でカットしたA面が内側になるように穂木を挿して、**互いの形成層をぴったりと合わせます**。
- **固定する**: 形成層がずれないように、接ぎ木テープを台木に巻いて、下から巻き上げるように穂木と台木を何重にも**しっかりと結束していきます**。
- 台木の切断面や穂木の上端まで**すべて覆われるように巻き上げます**。 接ぎ木完了！

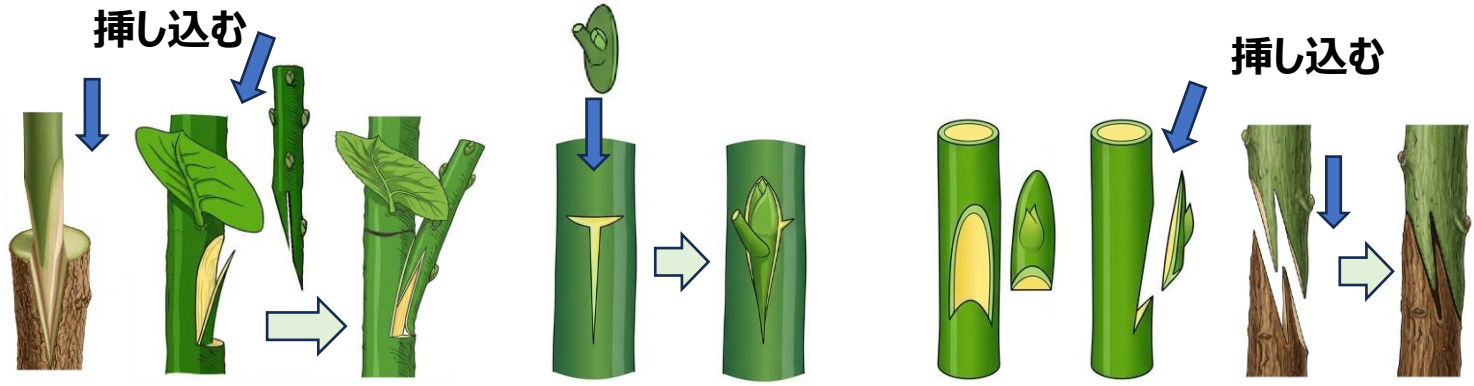


切り接ぎ 【重要】斜め切りで形成層を合わせる



レモンでよく使われる接木の種類

接木方法	適する台木・穂木	成功率の目安	特徴
切り接ぎ	台木がやや太い場合	高い	作業が比較的分かりやすく、幼木にも使いやすい。初心者向け
割り接ぎ	台木がやや太い場合	中～高	太さの違う枝でも接ぎやすい 初心者向け
腹接ぎ	台木を切り倒さず接ぐ	中～高	台木を残したまま接げる バックアップ向け
芽接ぎ（T字）	台木が細め	高い	1個の芽を利用するので穂木を節約できる。中級者～プロ向け
切り芽接ぎ	台木が細め～中程度	高い	柑橘類で利用される方法 中級者～プロ向け
舌接ぎ	台木と穂木の太さが近い	非常に高い	接合面が広く、しっかり固定できる 中級者～プロ向け
高接ぎ	すでに大きく育っている木に切接ぎや腹接ぎをする	高い	多品種接ぎ。品種更新向け 中級者～プロ向け



最後に育てる（接ぎ木苗を置く場所と育成方法）

高つきレモン

STEP１：置く場所（3～4月）

・直射日光に当たらない室内で育てるのが無難です。
ただし昼間の室内程度の明るさは必要です。
・室外に置く場合は風があたりにく**箱やコンテナなどに入れて置き、直射日光を避けます**。
不織布やビニール袋をかけるなどできるようにします。
不織布だと、適度な明るさと湿度、温度を保てるのでお勧めです。



温度、湿度、水管理

・温度は15～30℃、湿度は60%前後
蒸れてダメになることもあります。
・カルスが固定される前に乾燥させない
接ぎ木の傷口からは「カルス」という細胞が発達し、かさぶたのように傷口を覆います。
やがて、その一部が形成層に分化して、接ぎ木が完了します。
カルスが順調に発達するには高い湿度が必要です。
・接いだ部分が水に濡れると接ぎ木は失敗します
土の部分だけに水をあげて、接ぎ木部を濡らさないようにしましょう。
土が乾くと水をあげてください。毎日決めた時間に同じ量をあげると根腐れします。



STEP２：芽が伸びてきたら追肥

・穂木と台木の形成層が癒着するまでの**1ヶ月**ほど、
いかに隙間なく密着させ続けられるかが接ぎ木の成否を分けます。
・接木テープは巻いたままにしておきます。芽はテープを破いて出てきます。
・肥料は芽が吹くまでは与えません。
芽が5～10ｃｍ位伸びたら、少しだけ追肥します。
気をつけるべきは幼苗時の肥料過多です。
培養土使用時は追肥は必要ありません。



STEP３：直射日光に慣らす（5月頃）

５ｃｍほど芽が伸びたら、少しずつ直射日光に慣らしていきます。
外に出すときには風に充分気をつけてください。乾燥します。
日当たりが良く、風当たりが強くない場所に置きます。
強すぎる直射日光は避けてください。葉焼けして枯れます。





接ぎ木が成功すると、台木の力で成長が早くなります。
早ければ翌年春に花が咲き、秋には果実を収穫できます。